

第2 2回鴨川府民会議 概要

第1 日時 平成25年5月30日（木曜日） 午後1時30分から4時まで

第2 場所 京都府公館レセプションホール

第3 出席者

【公募、有識者メンバー】

金田章裕（座長）、飯塚隆藤、川嶋瑛莉、久保明彦、金剛育子、坂口圭豊、杉江貞昭、高橋恭弘、竹門康弘、田中真澄、土屋義信、土居好江、中村桂子、野口義晃、舟津麻子、松井成樹、松井恒夫、村島哲郎（座長・副座長以外五十音順）

【行政メンバー】

京都市 小田宏一（建設局建設企画部建設企画課課長補佐）

京都府 松浦章（京都土木事務所長）

【事務局（京都府）】

伊勢田敏（建設交通部長）、中村敬二（建設交通部技監）、板屋英治（建設交通部理事）ほか

【一般傍聴 1名】

【報道機関 2社】

第4 内容

1 開会

○板屋（京都府建設交通部理事）

お待たせいたしました。それでは、定刻になりましたので、第22回鴨川府民会議を開催させていただきます。本日は皆様、お忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日の進行役を務めさせていただきます京都府建設交通部理事の板屋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。前任の田井中の後任で4月から京都府建設交通部理事を拝命してございます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、初めに、鴨川漁業協同組合からメンバーとしてご参加いただいております

三谷桂和様から、今回より後任として賀茂川漁業協同組合理事の竹門康弘様にメンバーとしてご参加いただくことになりましたので、ここでご紹介させていただきたいと思います。

それでは、本日の出席の行政メンバーをご紹介したいと思います。京都府京都土木事務所長の松浦章でございます。

○松浦（京都府京都土木事務所長）

よろしく願いいたします。

○板屋（京都府建設交通部理事）

京都市建設局建設企画部建設企画課課長補佐の小田宏一様でございます。

○小田（京都市建設局建設企画部建設企画課課長補佐）

すいません。本来でしたら河川整備課長の藤原が出席のところですが、恐縮でございますが、代理で出席させていただきます。よろしく願いいたします。

○板屋（京都府建設交通部理事）

なお、本日は、川崎雅史様、西野由紀様、山中英之様、新川達郎様は、欠席でございます。また、川嶋瑛莉様は所用でおくれてこられるというふうに伺っております。

続いて、京都府の出席者をご紹介いたします。伊勢田建設交通部長でございます。

○伊勢田（京都府建設交通部長）

よろしく願いします。

○板屋（京都府建設交通部理事）

中村建設交通部技監でございます。

○中村（京都府建設交通部技監）

中村でございます。どうぞよろしく願いします。

○板屋（京都府建設交通部理事）

そのほか、関係職員が出席しております。

まず、議事に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきたいと存じます。本日は、資料といたしまして、「次第」、「出席者名簿」、それから資料の1から6までご用意してるところでございます。

また、メンバーの松井恒夫様から、ゴールデンウィーク中に鴨川を散策されたときに気がつかれたことをまとめられた資料を頂戴してございます。参考にお配りをさせていただいております。

資料に不足等ございませんでしょうか。会議の途中でも結構でございますので、不足等

ございましたら事務局のほうにお申し付けいただければ幸いです。

それでは、早速、議事に入っていただきたいと思います。議事は、座長にさせていただくことになっております。金田座長、議事進行をお願いいたします。

2 議事

(1) 平成25年度の鴨川の整備計画について

(2) 鴨川の新しいプランについて

○金田座長

梅雨入りということで、それらしい天気になっておりまして、好むと好まざるとにかかわらずですが、おかげさまで窓の外の色は大変緑がきれいなので、さっきから見ほれているところでございますが、どうぞよろしくをお願いいたします。

本日は、議事が6件準備してございますので、順番にいきたいと思います。以前どうだったか、あんまりはっきり記憶はないんですが、議事次第を書いたところに、本日の場合は午後1時30分から4時30分と、終わりの時間が明示してあります。これまでいつも明示されてたか、はっきりわからないんですが、恐らくあんまり長くなってはいけないという事務局の配慮かもしれません。いずれにしましても、この会議は委員の方々のご意見を十分にお聞きするという会ですので、ご意見は十分にお聞きしないといけないんですが、だからといって、3時間でも4時間でもいいってわけにはなりませんので、4時半を目標にして進めさせていただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、議事の最初に早速入らせていただきますが、議事の1番が「平成25年度の鴨川の整備計画について」、2番が「鴨川の新しいプランについて」でございますが、これは、2つとも非常によく似たと言ったら言い過ぎですが、これからの計画にかかわることでありまして、あわせてご説明いただいた上で、ご審議いただいたほうがと思いますので、両方あわせてご説明をお願いします。

○平田（京都府建設交通部河川課副課長）

河川課の平田でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

資料につきましては、資料1と4という形になっております。座って説明をさせていただきます。

まず資料1。平成25年度の整備予定内容ということでございます。年度初めに事業箇所についてご説明をさせていただいてる内容でございます。今年度につきましては、少し国の予算がおくれたということもありまして、詳細な整備延長、工事の種類の特定までがち

よっとまだ作業ができておりませんが、昨年度に引き続いて実施します予定の主な内容について、資料1のほうに挙げさせていただいております。

内容でございますけれども、写真が、左の上のほうから順番に説明をさせていただきます。まず、取り組みます事業1点目でございますけれども、中州の除去ということでございまして、10年をワンサイクルとして中州管理を進めております、中州の堆積土砂の撤去でございますけれども、今年度も昨年度に引き続き、まだ土砂の撤去がされてない分につきまして、土砂撤去を予定しておるということでございます。

それから、左側でいきますと、3つ目の写真になりますけれども、鴨川の右岸の高水敷の整備というのを御池の大橋から五条大橋の間、整備を進めてきておりまして、御池から四条までが完成をしたところでございます。今年度は、引き続きまして四条から下流に向けて整備を延ばしていくという予定にしております。

それから、左側の一番下の写真とちょうど真ん中、中央下にあります写真、それから右側の一番下の3枚の写真でございますけれども、これは下流域につきましての公共空間整備の拠点箇所ということで、従来から整備を進めてきておるところでございます。これにつきまして、まだ未整備の区間、それから空間整備の部分につきまして、引き続き完成を目指して進めていくということ、下流につきましては、拠点整備を進めるという状況でございます。

それから、右側の写真の上の写真、下の写真でございますけれども、もう一つの事業としまして、ジョギングロードの整備ということを進めております。右上の写真は、北側ルートということで、今まで整備を進めておるものでございまして、園路の補修をもちまして今年度に完成の予定でございます。それから、下側のジョギングロードの2つ目の写真につきましては、南側ルートでございまして、これにつきましては、まだ高水敷自体が連続してないところがございます。その連続してない箇所も連続性をつくるというような工事の内容に、ひき続き事業を進めたいというふうに考えております。詳細な事業箇所、延長等につきましては、また次回の府民会議のほうで報告を再度させていただきたいというふうに考えております。

それから、資料4のほうにつきまして、引き続き説明をさせていただきます。資料4の鴨川の新しいプランについてということでございますが、今、説明をさせていただきました工事の整備の内容につきましては、現在、平成21年度に鴨川の河川整備計画と同時に策定させていただきました、水辺の回廊整備・鴨川創造プランという5カ年のアクションプ

ランに基づいて、整備を進めてきたところでございます。このプランにつきましては、21年度に策定して25年度までの期間ということでプランがつくられておりまして、今年度が最終年度になっております。来年度からの新しいプランというものにつきまして、今年度に作成作業に入らせていただくというふうに考えております。このプランにつきましても、少し検討させていただいたものを次回に報告をいただいて、府民会議の中でも意見をいただきたいというふうに考えております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○金田座長

ありがとうございます。資料1のほうに示してある赤印のところ、今年度の整備予定の箇所だということですが、河川敷に相当する部分に斜め線のハッチが入れてあるところがあります。これが終わった場所ということではよろしいんですかね。

○平田（京都府建設交通部河川課副課長）

はい。中州管理につきまして終わった部分にハッチがしてございます。黒い太い線が入っているところが、整備が終わったところということでございます。

○金田座長

はい、わかりました。それから、資料の4のような日程で平成26年度から始まる新しいプランを、今年度、策定を進めていくということで、詳しくはこれからまた案をお示しいただきながら、ご意見をお聞きするということのようなのですが、お手元のところに、今、最終段階に入っているプランの写真がついていると思います。これで実施してきているわけですので、これをめぐってのご意見でも今、当面のところはよろしいかと思いますが。改めて今度、案を示していただくということですが、前もってご意見をいただければ、それもまたお考えに入れていただけることと思います。

いかがでしょうか。この議事の1番と2番にかかわりまして、ご質問とかご意見ございませんでしょうか。

中州を除去したところで、予期せぬことというのは起こっていないんですか。以前には、ちょっと堤防の下の部分がえぐれたりとかというケースが若干あったというご報告はお聞きしているんですが。あるいは、土どめと申していいかわからないですけども、表面に出ないようにくいを施して、影響を確認したというようなところもあったようですけども、予想外のことが起こったりとかというのは、特にないんでしょうか。

○平田（京都府建設交通部河川課副課長）

すいません。今日、細かな資料用意してないんですけども、昨年に、一度くいを打って様子を見ると、対策ということでご報告をさせていただいたところかと思います。その後、今年度も除去したところにつきまして、これから特に出水、洪水が起きる時期になってきまして、恐らく何か当初と違う変状というのが出てくるかと思います。その状況も観察しておりますので、それも含めてどういう状況になったかと。今後、それをどう対策するかというのは、洪水の後の観察を踏めてまたご報告をさせていただきたいと思います。

○金田座長

じゃ、これから増水する時期だからということですね。ということだそうですが、いかがでしょうか。何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

どうぞ。

○竹門

竹門ですけども、賀茂川の漁業協同組合の理事として参画させていただきます。

この中州除去に関しまして、各地組合員からの要望がございまして、中州の景観をよくするという自体はよろしいのだが、その結果、河床が真っ平らになるような、そういう地形管理というのが問題であると。今回は、一部地形に多様性を残す形で進めていただいているんですけども、それでも、水のある場所は一律に浅い環境ができてしまいまして、昨年度から今年にかけて行われた場所で、大きなコイがほぼ死滅するという事態が起きました。それは、深みがなくなってしまったということが原因のようですので、生息場所の多様性を損なわないような形で進めていただきたい。特に、瀬と淵ができるような管理の方針ですね、地形のつくり方を目指していただきたいというのが、組合長を初め役員の見解でございます。よろしくお願いいたします。

○金田座長

ありがとうございます。コイのこと、直接的にはあんまり議論にはなっていなかったと思うんですが。ほかに何かご意見。

はい、どうぞ。

○中村

日本野鳥の会、中村です。25日に丸太町から四条までバードウォッチングを開催しました。その間でちょっと気づいたんですが、非常に浅い部分があるんですね。ぎりぎり水があるなというふうな感じのところがあったんですけど、上流の方で、今後、中州を除去されて水量が減った場合、過去にも北山あたりでそういう状態が起きて、地域住民さんか

ら、鴨川が臭いというふうな苦情を聞いたことがあります。アンケートを実施したときにも書かれていたんですが、そういったことは、府のほうではちゃんと考えていただいているんですね。

○金田座長

ありがとうございます。今の苦情も含めましての議論ですが、府のほうで状況を掌握しておられると考えていただいているのかどうかということですが。

○木寺（京都府京都土木事務所管理室長）

鴨川を管理しております京都土木事務所の管理室のほうからお答えをさせていただきます。昨今、非常に北山あたりにいろんなご要望をされる方がふえております。そうした中でも、先日、今、中村委員が言われましたように上賀茂の左岸あたり、このあたりの宅地のほうから流出してきます水の流入箇所、ここに淀みとかいろんなことが起きまして、確かに臭い状態になっていると。そういったことを最近申告される方が、確かに数名おられます。ただ、私ども鴨川の水質を管理、水質の管理者では実際ありませんので、申告がありましたら現地に行って確認をいたしておりますが、私ども受けた申告内容を京都市のいろんな部局へお伝えしてると。それまでが限度かなというのが現状であります。

○金田座長

今、お話しいただいたのは、前に報告していただいた、淀みがあって、写真を見せていただいたところありますね。そこのお話と同じところですか。あれは、本流というか、その脇のほうにある淀みでしたよね、たしかね。ワンドみたいな、そういうやつでしたね。

○木寺（京都府京都土木事務所管理室長）

前回、当所の河川砂防室のほうで、この会議の中でご指摘を受けて調査した結果は異常なかったと。ただ、その隣接する場所に、左岸側からそういった泡とかいろんなものが流入しているのは間違いないという状況です。

○金田座長

どうぞ。

○平田（京都府建設交通部河川課副課長）

それから、先ほどからご意見いただいています、中州の除去をしたときの川の形態のことです。もともとこの中州の管理をいかに、深掘れをして護岸が傷むような、治水問題のある川にしないか。また、自然環境をいかに守っていくか。川の景観をどうするかというものを、どちらかというのではなくて、いかにすればどれもが調和した鴨川にな

るかということで進めさせていただいておりますが、若干、まだそういうところで不十分などところがあるかと思えます。先ほど、ちょっと座長からもご紹介になったように、淵、それから少し堆積した場所が形成されるようにくいを打ってみたりとか、新しい試みも始めさせていただいております。また、そういうことも、結果も踏まえながら参考にして、とり方については考えさせていただきたいと思えます。

以上です。

○金田座長

あくまで、いろんな形を試すというか、試行しながらデータを集めていくという方向で今、進めさせていただいておりますので、その状況につきましては、適宜ご報告いただきながら、また必要があれば再検討するという形で進めるというのが基本になっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。ほかに何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

はい、どうぞ。

○川嶋

川嶋です。ちょっと、今日おくれてしまって申しわけございません。

ジョギングロードっていう道のことでちょっと気になる点がありまして、ちょっとお伝えしたいんですけれども、三条大橋から丸太町橋にかけての道のところ、歩いたり自転車乗ったりしていると、幾つか水たまりができていたりとかしていて、非常に歩きにくいなと思っていました。よく見てみると、そこを避けて人が通ったりするので、隣とかに何か、多分草とか芝生みたいな緑があると思うんですけど、何かその部分が、人が踏み入れたりとか足踏み入れたりすることで、何かはげてしまってるっていうのがちょっと気になった点です。水たまりみたいなものが、ちょっとこう低くなったりとかしてるのができると、つまずいてしまったりとかっていう危険もあると思うので、この辺どのようにお考えなのかっていうのを、ちょっとお伺いしたいです。

○金田座長

どうぞ。

○木寺（京都府京都土木事務所管理室長）

では、引き続き京都土木事務所管理室のほうからお答えをいたします。ご指摘の箇所及びその対岸、左岸側に昔、舗装した箇所が、やはり磨滅等しましてへこんでる場所は確認をしています。それで、左岸側については私どものほうで、別のスケボーをしてる少年たち

のグループ等からもいろいろ意見をいただく中で、左岸側については補修の工区に入れるように今、指示をしてるところなんです、一方、右岸側については、まだ明確にそこまでは指示はしていない状況です。ただ、全般的にこれは言えることなんです、そういった磨滅をしたわだちをよけるためとも考えられますけども、自然に自転車道というのができてしまってます。これは、自転車道のことを、実は研究しておられる人がおられまして、その人たちが、なぜ自転車道ができるのかということも研究しておられて、私どももできたらそういった資料ほしいなと思ってるぐらいで。例えばベンチがあるとか、園路の幅員の関係なのか、そういった水たまりの関係なのか、ちょっとわかりかねますが、自転車道ができていないのは間違いない。それは私どもも認識をしています。

○金田座長

今ご指摘の左岸側のところについては、既に対応を指示していただいているけれども、右岸側のそういう、なぜそういう形になってるのかについては、まだまだ調べる必要があるという、そういうご意見。

○木寺（京都府京都土木事務所管理室長）

私ども勤務終わりましたら南へ向かって、夜間にパトロールを兼ねて帰っておりますので、認識はしております。

○金田座長

そうしましたら、それもまた状況が多少なりとわかった段階でまたご報告をお願いしたいと思います。ほかにいかがでしょうか。

そういたしますと、この件はこれからですので、特に2番目に関しては全くまだ具体的な案も示されていないので、これから検討していただくということですので、またご意見をいただけるようにしたいと思います。それから、1番目のほうでご報告いただいた整備を進める河床については、これは順次お進めいただくということになるかと思いますが、そのときに所期の試行的に進めるという目的に従って、問題が生じたり判断の変更その他が出てくるという場合についても、データをお示しいただいてまたご説明をいただければと思います。

(3) 鴨川ギャラリー整備の進め方について

○金田座長

それでは、ちょっと3番目に入らせていただいてもよろしいでしょうか。3番目は、「鴨川ギャラリー整備の進め方について」でございます。これにつきまして、まず説明をお願い

いたします。

○高野（京都府建設交通部河川課鴨川条例担当課長）

河川課の高野と申します。それでは、資料2のほうになりますけども、鴨川ギャラリー整備の進め方について説明をさせていただきます。この件につきましては、鴨川にかかっています橋の下を活用しまして、鴨川の魅力の発信ができないかといった提案をさせていただきます。この府民会議でも何度もご意見をいただきながら、平成24年度から試行として進めまして2カ所整備したところでございます。整備の趣旨としましては、鴨川にまつわる歴史・文化などの魅力を発信していこうということで、あわせて簡易な休憩施設を設置しまして、快適な利用をサポートしていこうというものでございます。整備箇所は二条大橋、ここは国宝上杉本の洛中洛外図。それから出町橋のほうは、葵祭に関する絵図とか写真を展示したところでございます。

それで、25年度以降の進め方についてですが、まずは24年度に行いました試行の結果を評価しまして、その評価を踏まえて全体計画を策定しまして、25年度から順次整備できればいいと考えております。まず、評価の方法ですけれども、2カ所の試行場所、あるいは京都府のホームページなども活用しましてアンケート調査を実施しまして、その結果を分析して全体計画に反映していきたいと考えております。それから、全体計画ですけれども、これにつきましては、具体的な整備箇所、整備内容、何年でというような年次計画、そういったところを内容としていきたいと考えております。それから、25年度以降の予定につきましては、次回のこの鴨川府民会議で、評価結果それから全体計の案を報告させていただきます。意見交換をいただき、そこでのご意見なども計画に反映した上で、全体計画に基づきまして25年度の整備を進めていきたいと考えております。

裏面をちょっとごらんいただきたいと思います。資料2の裏面につきましては、「鴨川ギャラリー」アンケート（案）（配布用）と書いてますけども、これ、試行した2カ所で、こういった形でアンケートをとったらどうかなという案でございまして、できれば6月中に実施したいというふうに考えているところでございます。

説明は以上でございます。

○金田座長

以前から既に二条大橋と出町橋の右岸側の下のほうで、試行的にこういった整備をしていただいて、橋の下の暗い印象が随分がらっと変わっているんですが、そのことについてちゃんとその評価を調査しないといけないという話を前回いただきまして、それでそのこ

とについて、こういう案をつくっていただいたと。特にアンケートの案をつくっていただいたということですが、何かご質問、ご意見はございませんか。

はい、どうぞ。

○松井（成）

すいません、松井でございます。私、出町柳の近くに住んでおりますので、出町橋の下がすごくきれいになっているといつも思っております。こういう整備をさらに進めるといいう形で、なかなかこういうものを置いてるだけでは通り過ぎられる方がほとんどだと思いますので、例えば民間にちょっとこの場所を貸し出してみるとか、今思いついたようなところで言いますと、学生さんに、昼間この辺でカフェをしてもらってお客さん来てもらうとか、また、夕方以降でしたら、私、酒屋でございますので、できたらこのあたりで日本酒など飲みながら、ホテル飛んでるのを見ながらお酒飲むなんていうのは情緒があっいいんじゃないかなと思ったりもしています。そういういろんな工夫があれば、もっとこういう橋の下の有効活用ですとか、みんなで鴨川きれいにしていこうなんていうのは、日本ではなかなかほかに例がないものだと思いますので、うまくやればきっとおもしろいことになるんじゃないかなと思っております。

○金田座長

ありがとうございます。ほかに何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。ご提案は既にいただいているんですが、せっかくの機会ですから、このアンケート用紙のところ、ぱっと見て何かお気づきのところがあればご指摘いただきたいと思うんですが。まず、クエスチョンの1のところは、性別ですね。その次が年齢で10歳別の階層で、目的は観光・散歩など日常・その他というのがありますね。どこからお越しですか？って、これは市内・府内・他の都道府県。外国の人が来たらどうするんですかね。まあ、ちょっと今急に思っただけです。それから、クエスチョンの5は「鴨川ギャラリー」の印象、とてもよい・ふつう・よくないでいいのかどうか。クエスチョンの6ですね。「鴨川ギャラリー」は、橋周辺にまつわる歴史・文化をテーマにしていますが、テーマについての印象は？。また、現在のテーマの他に希望されるテーマ等はあれば。とてもよい・ふつう・よくない、希望テーマ。それから7番目が、展示内容に工夫や改善した方がよいと思われる事項はありますか？と。あるとないとで、ないが9に行って、あるは、要望の項目が8にあるのか。7と8の関係がちょっとわかりにくいですね。それから9番、照明。必要・不要・その他ご意見。ベンチ、必要・不要・その他ご意見。11番、「鴨川ギャラリー」の今後の整備箇所

数について、多い方がよい・ある程度あればよい・少ない方がよい。12番、その他、ご意見。というようなことですが、何かお気づきの点はございませんでしょうか。

はい、どうぞ。

○飯塚

すいません。紙面の関係上、入れられるかどうかわかりませんが、頻度というか、観光の場合は一度きりかもしれません、日常の場合、ふだんいつも橋の下を通ってるだとか、そういったことも何かあわせて聞けると良いと思うのですが。どれだけ今後、こういったギャラリーを数カ所設置したことによって見ていただけるかとか、そういうことがわかるんじゃないかなって。ギャラリーのために行く人も中にはいるかもしれませんが、基本的には、多分日常的にそこを通ってる人が見られると思うので。そこら辺をあわせて聞いていただくと、どれくらい人が動いてるのかなってというのが、わかるかもしれない。

○金田座長

ありがとうございます。ほかに、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○高橋

鴨川ギャラリーのアンケート実施、非常にいいと思います。ただ、これにもう少し工夫を加えていただきたいなあとと思うのは、26年度の鴨川の新しいプランの策定がこれからなされるということで、鴨川自体の、市民あるいは府民の持つ感情あるいはマーケットニーズ、どういう使い方をされて、どういうことを求められてるのか。将来的にどういうふうになりたいのかと。その中の一つが、鴨川ギャラリーでもあるという位置づけではないかと思います。ということで、同じアンケートをとられるなら、いい機会ですので、アンケートをとるにも人的にも経費的にも費用いろいろかかるとしますので、その機会に、新しい鴨川のプラン策定の参考資料となるようなマーケットニーズの把握をされる。その中の一つがギャラリーである。あるいは、文化であったりスポーツであったり芸能であったり、いろんな切り口があると思いますので、総合的なアンケートをとられたほうが、同じ時間とお金を使われるのであれば、私はよいと思いますので。いい機会ですので、そういうふうにお考えいただければよいのではないかというふうに思います。

○金田座長

ありがとうございます。この機会に鴨川全体の方向性についてのお考えも聞けるといいということですが、ほかにいかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○川嶋

そのギャラリーの展示の仕方というか、展示の内容についてちょっと提案なんですけれども、せっかくこういう場があるので、周辺地域の町歩きマップみたいなものを掲示したりとかしたらいいのではないかと、少し考えました。例えば、近くにある老舗のコロッケ屋さんがいいとか。これはちょっと、お店の人とかにも許可をもらったりとかしなきゃいけない点があるとは思いますが、そういうふうにする事で鴨川周辺のお店とかの紹介、PRにもつながり、京都全体の盛り上げにもつながるのではないかと考えます。

以上です。

○金田座長

ありがとうございます。今のは、つくってしまったところの評価というより、今後のあれで、周辺の散策路の案内などというのもあってもいいのではないかと、そういうご意見だと思いますが、ほかにいかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○竹門

2つございまして、まずアンケートについてですが、アンケートの結果というのは、どなたに聞くかによって結果は大きく違ってきてしまうと思うんですね。もし、ギャラリーに対するだけのアンケートであれば、鴨川に実際に来ておられる方に聞くのが筋になるんだと思うんですけども。先ほど高橋委員のほうからお話があったような、今後の鴨川に対してどういう施策がいいのかというような話になりますと、もう少し広い範囲から人々に意見を聞いたほうがいいことになりますよね。現時点でのアンケートのとり方は、どういうやり方であるかっていうのをまずお聞きして、どうするのがいいのかっていう意見を述べたらどうでしょうか。

○金田座長

ありがとうございます。どういうふうにアンケートをとるご予定を考えておられるのかということについて、まずご説明をいただくと。

お願いします。

○高野（京都府建設交通部河川課鴨川条例担当課長）

今のところ考えてましたのは、まず現地ですね。2カ所試行した場所で、まず実際のものを見てどんなイメージかとか、そういったところを聞きたいなと思ってますのと、それ

からホームページで広く、写真とか趣旨とかホームページで公開して、そこで意見を募集すると、聞いていくというようなことも考えております。

○金田座長

ということを、今の時点で考えておられるようですが、それにつきましてアンケートのとり方ということですが、意見の聞き方ってことですが、それにつきましてご意見ございませんでしょうか。

はい、どうぞ。

○田中

もともと暗い環境をよくしようということでこの方策がとられて、ギャラリーという形になったんで、環境が改善された。ギャラリーに、それはまあ求めていくのもいいでしょうけど、あんまり過剰なものを広げて、あんまりしていく必要はないんじゃないかなと、僕はそう思ってます。それと、このアンケートでいくと、知らない人もいるわけですよ。設置されてることを知らない人が多いと思うんですよ。どっちかっていうと。だから、まず知ってるか知らないかということも、やっぱり聞かないと。わからない人も多くいると思うんで。その辺のともちょっと加味していただくといいんじゃないかと思います。

○金田座長

どうぞ。

○土居

このアンケートは、ギャラリーに関するアンケートだと思うんですが、ギャラリーそのものとあわせて、鴨川があなたにとってはどういう場所なのかという、そういう質問もあれば、ギャラリーがどういうものを目指すべきかというのがわかると思うんです。4月にたまたまヨーロッパから、フランス、ドイツ、イギリスの方々をちょっと京都をご案内したんですが、彼らが口をそろえて申ししたのは、人が多い神社に行くよりも自然の美しいところに行ってみたい。京都の美しい自然に触れてみたいということでございました。そして、とても深く勉強をして、歴史も文化も驚くほど勉強して来ておられました。そういった意味からも、ギャラリーそのもののアンケートにプラス、何か鴨川にとってのあなたのもの、どういう位置づけなのかということ、日本語とあわせて英語でもぜひご質問をしていただければというふうに思います。

○金田座長

ありがとうございます。ほかにはご意見ございませんでしょうか。

はい。

○竹門

将来的にぜひ反映させていただきたい点が、今もお話に出てきた鴨川の自然について紹介、それを見直す一つのネタになればいいと。これは、必ずしも博物館みたいなもんじゃなくて、単に鴨川にすんでる魚、こんなんがいるよとか、飛んでくる鳥にこんなんがいますよっていうのが、絵解きで描いてあるようなもんでもいいとは思いますが。鴨川にすんでいる魚が、実は料亭で鴨川産のものであるっていうのを銘打って食べられるっていう場所があるってことを、知ってる人のほうが少ないと思うんですね。実際にそこにすんでるものが利用されているところが生きてる文化だと思いますので、そういった部分を光当てていただければいいなと思います。

○金田座長

ありがとうございます。いかがでしょうか。今、ご意見いただいたのは、2つの方向性があるって、今、原案として考えておられたのは、具体的に鴨川ギャラリーというのをどのように使っておられて、どのような印象を持っておられるかということ、直接的には聞きたい。それからもう一つは、同じアンケートをするのであれば、鴨川の将来計画に資するような形の方向性のご質問なども加えて、アンケートをしたほうが役に立つのではないかということで、具体的に幾つか、例えば英語のアンケートも云々というのも加えてご意見いただきました。それともう一つは、その方向にかかわるんだろうと思いますけれども、鴨川の状態、例えば、100万人以上の人口の都市のど真ん中を流れる川の魚が食べられるんだというようなことも、知らない人が多いというようなのも。まあ、鳥は魚を食べてますけれども。ちょっと余計なことを言いますが、鳥と私は競合しておりますので。それはちょっと別にいたしまして。そういうこと自体を御存じない方もあるので、その辺のことも、これはすぐということじゃなくて、将来的にという意味だったと思いますが、そういうことも含めてお考えいただいたらというご示唆もいただいています。

それで、恐らくアンケートとしてやるときには、やたらたくさん項目つくるわけにはありませんので、具体的にはいろんな制約があると思いますので、特に紙面の制約とか質問項目の制約とかいろいろあると思いますから、ただいまのようなご意見を踏まえていただいて、ちょっと練り直していただいて、できることは加えていただいたらと思います。特に、実際にその場でそこに来られた方にアンケートするというのと、それから、別途にネットなどで意見を求めるというのとでは大分性格が違うと思いますから、全く同じ形で

やるというわけにはいかないと思いますので、その点も可能かどうかということも含めまして、ちょっとご検討いただけたらいいと思います。その内容につきまして、改めてまたご意見をいただくというよりは、むしろ早くアンケートをしていただいたほうがよろしいと思うので、ただいまのようなご意見を踏まえて再検討していただいて、実施していただくと。その結果について、また我々としてはお聞かせいただいて、お気づきのところがあったらまたご指摘をいただくという形にさせていただけたらというふうに思います。

これはそういうことで進行中で、興味深い結果が得られると大変プラスになると思いますが、とりあえずこの3番の議事については、以上のようなご意見を承って、先に進ませていただいてよろしいでしょうか。

(4) 鴨川ふれあい空間について

○金田座長

それでは、4番です。「鴨川ふれあい空間について」でございます。これについて、まずご説明をお願いいたします。

○西田（京都府建設交通部都市計画課副課長）

失礼いたします。都市計画課公園担当で副課長をしております西田と申します。座って説明させていただきます。

それでは、鴨川ふれあい空間についてということで、資料3につきまして、説明をさせていただきたいと思います。この事業は、鴨川うるおい・ふれあい回廊整備事業の一つとして行うものでございます。1番、目的といたしましては、かつて歌舞伎の祖と言われる出雲阿国が鴨川で興業したことなど、鴨川は古来より芸能・文化などの発祥地でありまして、現在も若者が踊りをしたり、いろんなイベントがされているところでございます。今もそのような京都の気質といいますか、息吹が感じられることから、現在における多様なパフォーマンスなどが展開できる芸能・文化の発信スポットの整備を検討しようとするものでございます。

次に、2番目でございます。鴨川納涼におけるステージ設置とアンケートということで、整備に当たりまして、府民のニーズなどを的確に把握する必要があると考えておりまして、施設設計あるいは使用・管理に役立てるということで、8月に予定されております鴨川納涼の際、この下の位置図にも示しておりますが、鴨川右岸の四条と先斗町公園の園路内に、仮設のステージを設置いたしまして、アンケートを行うことを考えております。この鴨川納涼における具体的なことにつきましては、今後、主催者など関係する皆様方と調整をさ

せていただくということとしております。あわせて、当日のアンケート内容につきましても、調整をしていく予定をしております。内容といたしましては、先ほど言いましたとおり、ニーズに関する事、設置場所に関する事、利用に関する事などをお聞きしたいと考えているところでございます。この鴨川納涼時のアンケート結果を踏まえて進めたいと考えております。

次に、3番、ステージの計画及び候補地についてでございます。三条から四条間を位置図で示しております。鴨川の河川敷内ということで、現在、現地を確認する上で3カ所ほどの候補地の例としてどうかと考えてるところでございます。そのことについて説明をさせていただきます。まず、候補地例として番号が位置図とともにあります。1番目といたしまして、左岸の四条大橋上流でございます。視点といたしましては、出雲阿国の像に近く、アピール効果があるのではないかと。2番目といたしましては、右岸の先斗町公園の前。視点としては、床の疑似体験が可能ではないか。3番目といたしましては、右岸、三条大橋の下流でございます。視点としては、ほかと比較しまして園路が広く、観覧スペースの確保が可能ではないかと考えております。整備するに当たりましては、それぞれの候補地で、当然ながら治水に対する安全性、通行者への安全性、それと周辺的生活環境等への配慮、それに至る構造、いろんな条件あるいは課題、それらを整理して対応していく必要があると考えております。また、恒久的なもの、あるいは期間的なものにするか、整備した際の使用法あるいは管理方法なども検討しながら進めていく必要があると考えております。事業を進めるに当たりまして、この鴨川府民会議の皆様のご意見、あるいは8月に鴨川納涼のほうでアンケートの結果、それらを踏まえて検討を進めまして、次回の会議で具体的なお報告をさせていただきたいと考えております。

説明は以上でございます。

○金田座長

ありがとうございます。ちょっとご質問、ご意見いただく前に、確認だけさせていただきますんですが、今の案としては、目的の2行目の後ろのほうから、要するに発信スポットの整備を検討するという事で、これには、一時的なもの、それから恒久的なものも検討対象には入っているということなんですね。

○西田（京都府建設交通部都市計画課副課長）

場所によりましては、それぞれ治水の安全性ということがあります。恒久的なものとしてできるのか、あるいは、その場所でしたら一時的にしかできない場合ということで、

それらを含めて検討していきたいと思っております。

○金田座長

それと、それから2番目の目的のところに書いてありますが、鴨川納涼の催しのときに臨時のステージをつくって、そこでアンケートをすると。で、意見を集めるということですね。

○西田（京都府建設交通部都市計画課副課長）

はい、そうでございます。

○金田座長

ということをお考えのようなんですが、この考えが基本的にいいか悪いかという点も問題になるかと思えますけれども、それを含めて全般的にいろんな角度からご意見をいただければと思います。

どうぞ。

○杉江

鴨川の会の杉江でございます。鴨川が育てきた文化・芸術の発祥ということもあって、なかなか私はいいと思います。ただ、やはり一番肝心なのは、地域の方々の協力がなかったらなかなか実現も難しいかなと思っておりますので、そういった点も踏まえて、できれば地元である納涼床協同組合の代表理事の久保さんに、ちょっと意見を伺いたいと思えますけど、いかがなものですかね。

○金田座長

どうぞ、何かご意見ございましたら。

○久保

先ほどから、金田先生の隣でこのような状況の場所で、ほとんど言葉が出ないような状況であるにもかかわらず、いきなりからこういうご指名が来るとは。ちょっと考えさせてください。これ、ほんとにいきなりなんで、納涼床の協同組合の理事長としてっていう形では、少しコメントがしにくいので、個人的な意見として申し述べるとすれば、イベントっていうのが、すごく町おこしにもつながりますし、現実に四条の近辺、出雲阿国が阿国歌舞伎を始めた場所、床の組合の納涼床っていうのも、四条のあのあたりなんですね。八坂神社のみこし洗いを見に集まる神賑で、近辺の料理屋、茶店が床几を川の中へ置いて、そこからぱっと広がって、これをまた見に来る人たちが歌舞伎小屋を建てたりとかしてというようなことで、このあたりリンクする部分があるんで。個人的に言うと、大賛成な

んですよ。あくまでも個人的に。

でも、さっきおっしゃっていただいたようなフォローができるかということですね。これ、常設的に置くということになると、どこの場所を持ってくるにしても、治水上ややっぱり心配はあるでしょうし。かというて、取り外すという形をとるのであれば、費用も相当かかると思いますし。イベント性っていうても阿国歌舞伎ではなく、いろんなパフォーマーの方がやられるっていうことになれば、当然、見に来る人たちの目だけじゃなくて、たくさんの方が通られるわけですね、鴨川っていうのは。その方々にとって不愉快なパフォーマンスもあるかもわからないですね。そんな変なもんっていうことを言ってるわけじゃなくて、何やっとなのやこんなどこでっていう。床の組合やってますと、非常にそういう意見も出てくるんですよ、いろんなところから。そういう経験上、そのあたりのフォローがきちっとできないと、かなりしんどい部分があるんじゃないかなと思うんですね。だから、個人的には賛成なんです。だけど、組合の理事会とかにかけると多分、半分半分か反対者の意見のほうが多いんじゃないかな。もっと考えなあかんの違うかなという意見が出てくると思いますわ。その辺のところを、この会議で何回も提案されて、もうちょっと埋められないと。近々っていうと、何ともちょっと私のほうからは、はい。個人的には賛成です。それだけ念押しするときはすんで。よろしいですかね。すいません。

○金田座長

ありがとうございます。

どうぞ。

○田中

当事者の方が大変苦勞しておられるので、ちょっと離れたところから考えますと、この発案というのは、京都府の河川課から出てきたんですか。どこから出てきたんですか。

○金田座長

はい。

○西田（京都府建設交通部都市計画課副課長）

私ども都市計画課から出しております。

○田中

京都府。

○西田（京都府建設交通部都市計画課副課長）

府の都市計画課です。

○田中

都市計画課。

○西田（京都府建設交通部都市計画課副課長）

はい。公園の担当をしている部署です。

○田中

公園のね。パフォーマンスにしろ、今ご意見もありましたけど、やはり、こういうところで一つのこういう、例えばこの場合、書いてあるところによると、鴨川納涼のシーズンだけに限定してステージをつくって、また取り外すのか取り外さないのか。鴨川納涼のときのみこういう行事をセレモニーっていうか、されるのかということ、まず第一に一つお聞きしたいのと、それから、常時的にこういう広場をつくってこういう計画をされておられるのかということ、まずお聞きしたい。それから、やっぱりそうでなくても先斗町や古い通り、伝統ある通りに面したところでもありますので、静かなっていいですか、古都の心としてあんまりパフォーマンス的なもので騒いだり、若者たちがわいわい言ったりする、そういう雰囲気になって非常に周囲に迷惑をかけたという状況が、僕は生まれてくると思いますし、先斗町かいわいの風情も、ひょっとしたらこれによって阻害されるかもわからないという面を危惧しておりますので、これは先ほども意見が出ましたが、より慎重にいろんな議論を重ねて、一地域だけの問題じゃなくて、京都としてのそういうあり方の問題になると思いますので、十分検討していただきたいと思います。

以上です。

○金田座長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○高橋

このふれあい空間の場所の提案ということですが、ちょっと余りに漠然とし過ぎて、イメージがちょっとつかみきれないのが現状です。多様なパフォーマンスなどが展開できる発信のスポットということになると、これは、この言葉のまま捉えますと、例えば設備の経費が相当かかると思うんです。例えば、電源設備についても照明設備についても、あるいは音響についても相当の経費と、これは運営を管理する人材がかなり必要になってくると思います。

私も、いろいろ会社勤めの最中でいろんなところでイベントを開催して、例えばソ連の

ポリショイサーカスを呼んできてイベントを開催したりとかしましたけれど、相当な経費がかかりますし、設備も相当かかります。その維持・管理。それと、集客を目的と当然することになると思いますので、集客をしたときの人員の整理。あるいは、ごみの散乱の問題、動線の問題。これ、四条と三条の間ですと交通量も人の流入も相当多いところですから、その煩雑さをどうクリアしていくのか。これが恒常的に、例えば月何回とかいろいろイベントを開催されるのか、先ほどおっしゃったようにシーズンに何回か開催されるのかわかりませんが、相当な設備と人員と運営のノウハウがなければ、これはなかなか難しいと思います。例えば、音楽イベントなんか大阪でやったときには、FM802とかいろいろ提携してやりましたけれど、警備会社あるいはタレントさん、あるいはパフォーマンスをする人たちの控室であるとか誘導であるとか、これはイベント会社の専門ですので、そういう専門会社でないとこれはとても無理です。

提案自体はいいんですけども、当初申しましたように、イメージが湧かない。どういうイメージでどういうものをお考えなのかっていうのがよくわからないので、私の経験から言いますと、こんな問題がいっぱい起こりそうやということを、お話しさせていただいて、もう少し具体的なイメージがわかるような形で提案していただかないと、皆さんも恐らくいろいろ意見の言いようがないと、久保さんもおっしゃってましたように意見の言いようがないというふうなのが実態かと思しますので、もう少し詳しい詳細のイメージのわかる提案をお願いしたいと思います。

○金田座長

ありがとうございます。今、御話をいただいたところ、イメージがまとまらないので、どういうふうに意見を申し上げたらいいかわかりにくいというのが基本にあるというご指摘がございましたが、そのとおりの面と、それからもう一つは、全体としては慎重な慎重論が多いと思います。私自身そんなこと詳しいわけじゃないんですが、三条大橋のたもとで、よく時々学生たちがいろいろやっていますよね。例えば、ああいうことについて、観光客や地元の人たちがどういうふうに受けとめているのかっていうような調査も、恐らく必要んじゃないかと思えますけどね。あそこで、わいわいといっぱいにぎやかなときに、通るのを、多少ちゅうちょするんですが、そういうことも含めていろんな状況を、やはり情報収集とそれから確認ということもあります。全体として、御話いただいたとおりなんですけど、慎重論が多いということで、いろいろとまたお考えいただいたほうがよろしいんじゃないかということになるかと思いますが。

はい、どうぞ。

○杉江

私が感じるのは、やはり使い道だと思います。やはり、何でもいいかといえば、それはちょっとどうかと思います。ですから、やはり最近、以前からもいろんな芸術的な感覚で各大学でいろんな研究会とか立ち上がって、それこそ静かな伝統文化を引き継いでるようなサークルもよくあると聞いております。そういった若手育成の、またそれをアピールできるような場として活用する。だから、出ていただく団体それから演目というか、そんなひっきりなしに音楽がじゃんじゃん鳴ってるとか、そういうなんやない、やはり、特に歌舞伎というのは今もう世界的なそういった伝統文化、日本古来のこういったものですので、やはりそれが世界に誇るこの鴨川で野外的な分野で演じられるということになれば、それこそ、やはり歌舞伎、阿国の歌舞伎が京都から発信したというイメージで、また世界からの観光客に対してもアピールのこともできると思うし。

それと、やはり当然川ですので、治水問題があると思います。ですから、先ほど事務局のほうから何か期間的なもん、当然、僕は必要やと思います。それと基本の施設というアメニティーな感覚でつくつといて、催しのときにそれに造作していくと。で、終われば撤去する。そうすると、そこの自然環境になじんだステージの基本的な一つのアメニティー空間みたいなんができれば、私の個人的な思いだけですけども、そういった形で出ていただくのが、誰もかれもかということやったら、逆に僕はもう反対です。御存じのとおり、手前ども夏に鴨川納涼やっておりますけども、そらもう、土・日、夜、ひどいもんです。我々まあ2日間、占用使用許可得てやっつとつても、とりあえず関係なしに音楽鳴らして、エレキみたいなんどんどんやっていると。出る前に、我々は、とりあえずそういう活動をやる前に、ここはちょっと2日間は遠慮してくれと。こういう催ししてるから、みんなに迷惑かかるからやめてくれということで退去はさせますけど、ちょっと油断すると、すぐばつと輪になった形で。ひどいときは、昔ですけども、三条の橋の下で段ボール持ってきて燃やすんですよ。で、ファイアーダンスを見たり、したりとかね。

ですから、そういうメンバーを呼ばれるんやったら僕は反対です。ですから、あくまでもそれは、どこの窓口になるか知りませんが、そういった出演する演目、団体、やっぱり厳密にちゃんと調査して、音量の問題とか、それから不可解な感じのステージの演目とかいうのは、やっぱりそれはちゃんと審査してから出ていただくというような、そういうルールづくりがあって初めてそこが生きてくと僕は思ってます。ですから、なんぼ京都

府がつくった府民の施設であっても、やはり付近の公共の秩序を乱すようなことであれば、私は鴨川の会としては大反対です。ですから、そういったことも踏まえてやっていただいたら、私は、さすが京都の文化やなあという形につながると思っと思って、賛成といった意味で言いましたので、そういうことです。

どうも。

○金田座長

はい、どうぞ。

○星野（京都府建設交通部都市計画課公園緑地担当課長）

都市計画課公園緑地担当課長の星野でございます。いつもお世話になっております。いろいろご意見いただきましてありがとうございます。見る側の視点、演ずる側の視点、周囲の視点と色々な視点があると思います。鴨川納涼という場をお借りして、アンケートをとることによって、ニーズや問題点などをしっかり洗い出して、その上でご報告をさせていただきながら考えてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○金田座長

先ほどからのご意見の中に、つまり、何について意見を聞くのかというターゲットのイメージがきちっとしないと、意見の言いようがないというご指摘もありましたので、その点も含めて慎重にお考えいただきと思います。それでは、この件は今のような形で。

はい、どうぞ。

○竹門

このタイトルが、鴨川ふれあい空間なんですよ。これを聞いたときに、何と触れ合うのかなって思ったんですけども。鴨川と触れ合うんだったら大賛成なんですけどね。それで、そもそも納涼床っていうのは河原文化ですね。本来は、川と水と触れ合うところに床があったわけですね。けども、治水工事によって、結果的に水とそれから陸が分離して、その疑似体験の場として今、納涼というのはあるんですね。けども、もし本気で鴨川と触れたいのであれば、水辺に我々がおりていかなくちゃいけないわけですよ。それは、危険性だとかいろいろございますけども、もし川に触れる機会をふやす空間っていうことを企画されるのであれば、ものすごく私自身、個人的に楽しいですし、漁協としても大いにその活動に協力したいと思いますので。先ほどから意見が出てますように、この空間に何を期待するのかということが明確じゃない段階で、私としては、鴨川と触れ合う空間って

うのを目指していただきたいという要望です。

○金田座長

親水性を増すという目的であれば、いろいろ考える可能性と意味があるというご意見がプラスされました。

はい、どうぞ。

○金剛

今ちょっとお話お聞きしてまして、鴨川の、いろいろパフォーマンスされるということなんですけども、やはり鴨川のイメージっていうのは、先ほどからいろいろお話にありますように、あくまでほんとにああいう静かな自然と一体の、そういう静かなイメージだと思います。それが魅力で、世界中の人が、やっぱり鴨川すごっていうことになってると思いますので、パフォーマンスも、何をされるかってことすごく大事だと思って。それを、とても似つかわしくないようなことになれば、かえって鴨川のイメージも損なわれる、ただもうやかましいだけになってしまうってことで。このアンケートをとられていろんな方の意見を聞いて、どんなものが望ましいかとか、するしないということも含めて、アンケートを広くとられるというのはすごく大切なやり方だと思いますし。

それから、個人的な意見としては、やっぱり鴨川、京都の文化の発祥というのはこういうふうな自然から発祥したもので、この出雲阿国の歌舞伎、これも有名な鴨川ならではのことだと思いますので、そういう歌舞伎の何か。どんな形がいいか具体的にわからないんですが、そういったものをちょっとこう、パフォーマンスがですとか。ちょっとこれ手前味噌になって申し上げにくいんですが、例えば歌舞伎の発祥前の形の能楽っていうのも、やはり自然の農耕から発生したもので、そういうもののイメージ的なものとしては非常につながるものだと思います。最近、若い学生さんで、例えば能楽でしたら能楽部でいろんな演目をされてる方もありますので、そういう方の発表の場としてもいいのか。いろんなことをちょっと考えながらお聞きしてました。いずれにしても、やはりいろんなアンケートを聞いた上で、京都らしい鴨川に即したものができれば、非常に文化のイメージとしていいのではないかなと、個人的にはそんなふうに思っております。

○金田座長

ありがとうございます。ただいまも、京都らしい、鴨川らしいというキーワードが出てまいりましたし、あるいはそういったことについてのご意見を伺われるのはいいことだという種類のご発言もいただきました。まだそれこそ具体的なイメージが固まっていない段

階ですので、いろんな形での検討を広く進めていただくということであろうかと、皆様のご意見はそういう方向であろうかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

(5) 鴨川四季の日について（ホームページによる魅力発信の充実・強化）

○金田座長

それでは、次の5番目の「鴨川四季の日について」という議題に入らせていただきます。これにつきましても、まず説明をお願いいたします。

○高野（京都府建設交通部河川課鴨川条例担当課長）

それでは、資料5に基づきまして、鴨川四季の日についてということでご説明をいたします。まず、恐縮ですが、2枚目の資料を先にご説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。2枚目の資料5を説明したいと思っております。

まず、鴨川四季の日～春～の実施結果でございますが、これは、前回の府民会議で説明させていただいた内容で実施しておりまして、4月6日から4月14日までの期間としまして、以下に掲げてますようなホームページ等による情報発信。それから、府庁の展示ですね。それから、下にありますような鴨川茶店、4月13日、14日の鴨川茶店でのブースで、条例啓発パネル、それから桜のみどころの展示、それから啓発物品の配布等を行いました。

裏面をごらん願います。鴨川四季の日～夏～の取り組み予定でございます。今年度の鴨川四季の日～夏～につきましては、まず期間ですが、8月3日土曜日から12日月曜日までを期間としたいと考えております。紹介する各種イベントにつきましては、もう既に始まっておりますが鴨川納涼床、それから祇園祭の関係の神輿洗式とか、それから「鴨川を美しく会」さんの主催の第44回鴨川納涼、8月3日、4日。それから、五山の送り火。さらに、これは府主催の行事ですけれども、鴨川探検！再発見！。それから、これも後でまた詳細な説明あると思っておりますが、京の七夕について発信していきたいと思っております。発信方法ですが、ホームページ、それから鴨川納涼のブースでの啓発、府庁内での展示スペース、それから府民だより、ラジオ等を活用して発信をしていきたいと思っております。

次の、さらに1枚めくっていただくと、これ、「鴨川を美しくする会」さんからご提供いただきました今年度の鴨川納涼の開催要領（案）でございます。先ほども説明しましたように、8月3日、4日、鴨川の三条から四条の間で、こういった啓発コーナー、イベントコーナー、それから県人会によるふるさと産品の展示等という内容になっております。

さらに1枚めくっていただきますと、鴨川クリーンハイク参加者募集ということで、これ、6月2日に、日曜日に定例のハイクがあるということで、もし参加を希望される方は

下の参加申込書によりまして、美しくする会さんの事務局まで申し込んでいただければな
と思いますので、よろしく願いをいたします。

恐縮ですけれども、資料の一番最初に戻っていただきたいと思います。ここで、括弧書き
で（ホームページによる魅力発信の充実・強化）ということで、タイトルを書かせていた
だいております。まず、【現状・課題】というところですが、まず、鴨川四季の日につ
きましては、鴨川条例に基づきまして四季の日を設けまして、いろいろ情報発信を展開
しているところですが、情報発信につきましてはさまざまな手段が考えられるんで
すが、特に近年ですと、例えばスマートフォンなどの急速な普及に見られますように、イ
ンターネットを活用した情報発信が非常に重要になってきているのではないかなと考
えております。このため、京都府で持っていますホームページの鴨川のコーナーですが、現
在、四季の日の期間中の催しとか、季節の写真等の紹介を行っているわけですが、より多
くの人に鴨川のさまざまな魅力を感じていただきまして、鴨川により多くの方に来訪して
いただけますように、内容の充実・強化が必要ではないかなというふうに考えております。

そこで、次に【ホームページの充実例】ですが、まず一つは、鴨川が持っている
さまざまな魅力を広く紹介するために、仮称ですが、「鴨川のみどころ」といった
ようなコーナーを新設してはどうかなと考えております。内容の例ですが、鴨川に
つきまして、上流、中流、下流ごとにいろいろな府の施設なり、それからご寄付いただいた
施設もごございますので、そういった上流から下流までの例えば公園、このたび三条、四条
間に整備しました散策路でありますとか、それから下流の京川橋の拠点整備の公園であり
ますとか、そういった公園もできております。それから、鴨川ギャラリーもありますし、
亀石、いわゆる飛び石なんか何か所かありますので、そういったことの紹介であります
とか、それから、これはご寄付いただいたものなんですけど、出雲阿国像とか、いろんな
そういう見どころもあると思いますので、そういった紹介。それから、鴨川は、ご承知の
とおり桜並木が大変美しいところですので、桜の見どころ。それから、鴨川で見られるさ
まざまな生き物、魚であるとか鳥、樹木、草花等ですね。それから、いろんな風物、お祭
り等ということで、鴨川の納涼床でありますとか祇園祭、葵祭等のそういう行事ですね。
それから、四季折々の風景写真ということで、これまでは四季ごとに掲載しておったんで
すが、そういったのを一覧で見られるように掲載してはどうかなというようなことも考
えております。

それから、2つ目としまして鴨川散策マップ、先ほども何かそういったマップがあった

らいいなというお話もあったと思いますけども、ホームページにも、鴨川に行ったときにどんな見どころがあるのか、あるいは周辺にどんな観光施設があるのかといった、そういった散策のときに参考になるようなもの、そういうマップを掲載してはどうかなど。それから、鴨川につきましては、歴史抜きにはなかなか語れないところがございますので、鴨川のほんとに古くからの歴史・変遷であるとか、それから鴨川にまつわる文化を広く紹介するコーナーも設けていってはどうかなど。こういったように、鴨川を幅広く紹介するコーナーを今後設けていきまして、多くの方々に鴨川の魅力を伝えていけたらなというふうに考えております。参考に、裏面のほうは現在のホームページということで、ちょっとこんな形になっておりますけども、さらに魅力あるものにしていきたいというのが趣旨でございます。

説明は以上でございます。

○金田座長

ありがとうございます。まず、何かご質問ございませんでしょうか。あるいは、ご意見も含めて一緒に構いませんけれども。承っていると、こういう形で発信を充実・強化するって大変結構なことなんですけども、例えば、鴨川で見られる生き物でこんなのがいるというだけではなくて、こんなのがいるけれども餌をやってはいけないとか、それから鴨川にはいろんな魚がいて、それを今でもちゃんと料亭で食べることができるというような紹介も含めて、それからさらに、ちゃんと今でも漁協が活動してるんだとか、何かその辺のことも入れていただいたらいいんじゃないですか。

はい、どうぞ。

○杉江

いよいよ今の鴨川のほうの四季の関係についてのことが、かなりホームページのほうも充実された計画を練っておられると思っておるんですけども、私、ちょっと以前に言ったんですが、各、今の鴨川にかかる橋ですね。イコール、結局通り名になっておりますでしょう。あこの通り名の考察をまだ実現されてないんですけど、以前は検討してるからいましばらく待つてほしいってというようなことも聞いたんですけども、いま一度、やはりせっかくこういう散策マップとか、そういうなんつくられるのであれば、それにあわせて、やはり当然シーズンになれば観光客よく来ますので、今のギャラリーのこともあり、いろいろとずっといろんなところ、鴨川の流域にまつわる歴史なりいろんな、あれはたしか丸太町上がったとこの山紫水明処、あこのことやら全部いろんなことあるので、やはり鴨川

の河川敷、遊歩道を歩いて、あっ、ここが丸太町通、丸太町橋かとか、これが賀茂大橋。できれば、そのときの地域のいわれなんか、もし可能であれば。ただ、やっぱり河川敷って高水敷ですから、設置のものによって異なる面があると思うんですけどもね。例えば、何で賀茂大橋という名前ついてる、ほんまやったら今出川大橋と違うんかとかね。その違い。それと、上流については今、一級河川鴨川と賀茂川が書いてありますけど、そういうことも、何でそうなってんのやとかね。ある程度、鴨川に関していろんな情報を知っておられる方はよく御存じですけども、手前ども、よく子供たちの環境学習で各学校へ行くと、一番出てくるの、その問題ですわ。何で文字が違うんやと。呼び方違うんやと。そうすると、ずっとたどれば、いわゆる賀茂氏の問題がある、領土の問題があるとか、いろんな歴史がずっとこうやってわかってくるんで。やはり、そういうことも踏まえて、今後またマップをつくられるのであれば、そういうことも記載してもらったらよりそれが役に立つと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

○金田座長

ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問ございませんか。

はい、どうぞ。

○竹門

先ほど魚の話出ましたけども、魚に限らず、賀茂川の上流から桂川までの区間に、どこに行ったらどんな生き物が見れる。つまり、生き物のマップというのあれば、興味持ってもらえる方があるんじゃないかと。それについては、単にもう動かないものとして分布があるんじゃなくて、アユの場合でしたら刻一刻と、今日ここまで上がってきたという、そういうのがあるわけですね。例えば、昨日は龍門堰を1尾の天然アユが上りました。そういうリアルタイムで変化していつてる状況を示すことができる場としても活用できると思いますね。それは、このホームページだけじゃなくて、「京の川の恵みを活かす会」のホームページだとか漁協とか、連携すれば情報をそうやって発信することはできると思いますので、ぜひご検討をお願いいたします。

○金田座長

ありがとうございます。ほかにご意見。

はい、どうぞ。

○野口

鴨川の、触れ合うということで、たくさん人が集まるということは非常に喜ばしいこと

なんですけども、問題提起されてないんですけども、三条、四条間にトイレがないんですよ。いつも鴨川納涼やられるときも臨時のトイレを設けておられるんですけども、とても利用するにはちょっとはばかられる人もたくさんおられまして。そういうトイレを十分整備されるというような計画はないんでしょうか。ちょっと本題と離れるようなんですが、ぜひ課題にさせていただきたいなど、いつも、かねがね思っておりますから。

○金田座長

三条、四条間、今のお話、特にね。いかがですかね。三条、四条間というと、少なくとも右岸は完璧に床が並んでいるわけですから、納涼床がね。確かに、そういえばそうですね。

はい、どうぞ。

○杉江

今、ちょうど野口委員のほうからお話あったように、確かにございません。我々、鴨川納涼するとき、ずっと以前は先斗町の公園のところを開催時間中は、実はあけてました。で、仮設の階段をつくって、そうすると木屋町のほうのちょうど蛸薬師のところに駐輪と公衆便所があります、京都市の。そこを利用できるということがあって。ただし、それだけでは当然賄いきれません。当初から、四条大橋の下と三条大橋の下に仮設の移動トイレを置いておりますが、ここ二、三年、京の七夕と同時開催していると、すごい入りです。ですから、我々2日間やっとして、今回も一応四条側にはもう1基ふやす予定、2基ずつ、予定を考えております。ただ、やはりそれも我々ボランティア団体として、土曜日、もうそら皆さん、当然、歓楽街ですから、お酒も入っております。ちょうど我々、若手委員を昼過ぎごろ招集しまして、それこそリヤカーに水積んだり、それからデッキブラシ持ったりして便所掃除から始めます。水の補給、それからトイレトペーパーの補給。それ全部そういう対応を裏方でやらない限り、ものすぐブーイングが出ます。逆に、もっともっと便所置けとかね。けど、やはり催しの趣旨からいって、最小限のことはできても、それ以上のことは無理やと思いますのでね。

なかなか施設をつくることによって、それも先ほどのステージやないけども、維持・管理をどうするのかということで。我々そういうときは、トラブル出たときは、どうか、川端の四条上がったところに公衆便所あるから、そのほうに行ってくれとかいうようなことをやっております。四条交番のともそうなんです。交番のトイレ貸してくれって言うて全部入ってくるんで、向こうも困るから、入り口に張り紙して、四条の川端上がったところにあるから、そこに行ってくれという形で、警察官も全部指示しておるとおりでね。ほん

で、御存じのとおり、いろんな、先ほどもステージのことありましたけども、何かイベントすると、それこそごみの処理の問題から人が、病人、もうすべて。それから特に川の中、安全管理、こういったこともすべて踏まえて、御存じのとおり、今年で鴨川納涼44回目になりますけども、手づくりで頭打ちながらやっとここまで来た状態です。ですから、24時間態勢でやっている状態で、ここの今のトイレの問題から、もうそら、ひどいときあります。見てへんだら鴨川でやってはる人もあるし。やっぱり、お酒が入ると。だから、そういったことも、今後また鴨川の会場でイベントするときは、いろんな問題が出ると思います。ちょっと話それたこともありましたけど、そんなようなことでした。

どうも。

○金田座長

ありがとうございます。特に人がたくさん集まるときに問題が生じる最大の点の一つだろうと。幾つかあるかもしれませんが、ぜひとも検討をお願いできたらと思います。

どうぞ。

○松井（恒）

このホームページなんですけども、鴨川の散策マップの掲載と鴨川の歴史って書いてありますけども、非常に広範囲だと思うんですね。歴史自体が千年の都ですから、どこに的を当ててするのかというのが、問題になるかと思えますけど。ものすごくたくさんデータがありますから、それぞれにつくっていくと、マップ自体が何十ルートできてくるんですね。平安時代なり幕末に関するのが人気なんだろうけども、幕末に関するルートつくるだけでも、どこを基点にしてどこを終着にするのかというような形で、もうずっと東山を含んで、また木屋町から河原町含んだルートも考えられますし、歴史と散策と、普通に何kmでウォーキングするというルートを考えると、そのホームページに上げるだけのルートを考えると10種類にもなるということになれば、これは、今スマートフォンがすごく普及してきてますんで、すぐ対応できるということでは、観光客の方は、特に若い方たちはスマートフォン利用されると思いますんで、スマートフォンでタッチすれば何々ルートというような形で何十種類あっても出てくると。自分は、今回は幕末のルートを行きたいんだということであれば、幕末ルートをタッチしていただいたら、四条からぐるっと回れるというような形で、もう少しホームページだけじゃなくて、スマートフォンとかそういうものを応用したような形のものをつくっていかれたほうが、よりいいと思いますので。

以上です。

○金田座長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。ホームページを充実していただくというのは、大変結構なことなんですけど、さらにいろいろとアイデアまで紹介していただきましたが、恐らくその辺の最終的な障害は、予算とか人員とかというところになるのかなと思いますけれども、その許す範囲で、今までいろいろいただいたアイデアを生かすような形で進めていただけたらというふうに思います。

あと、先ほど既にご紹介いただきましたが、鴨川納涼8月3日、4日の開催要領と、それからクリーンハイクが6月2日に予定されております。そのインフォメーションもありましたので、どうぞひとつよろしく願いをいたします。この鴨川四季の日につきましては、まだ何か。

はい、お願いします。

○久保

すいません、恐れ入ります。鴨川四季の日というものにばしっとはめ込まれてというわけではないと思うんですけど、先ほど金田先生おっしゃられた鳥に関することなんですけれども、この四季の日のホームページはずっと通年、まあ春、夏、秋、冬かえてもずっと出ると思いますので、これは希望なんですけれども、鳥に餌をやらないでくださいねっていうコメントを、常に出るように入れていただけないかなあというふうに思います。私、ちょっと目視してる範囲で、最近、トンビがかなり高度なテクニックを駆使して、以前は角度をつけないと入り込んで上がらないっていう部分があったので、ホバリングしてきててつかんで上がるというのは、あんまり以前見たことなかったんですけど、三条の木屋町の交差点、マクドナルドの袋を見事につかんで上がりましたので。そういうテクニックまでやりだすと、かなり危険な状況が今後出てくる可能性もあるので、で、餌やる人がふえてるんですね。減ってるんやったらいいんですけど。ですから、そのあたりのところちょっと、できましたらホームページの中に。やわらかい文言でいいと思いますので、うたっていただければと思うんですけど。よろしくお願いします。

○金田座長

ありがとうございます。トンビがオスプレイのまねをしてるのがいるそうなので、ぜひとも。これは、ぜひそういう注意事項をともかくお知らせして、認知していただかないとどうしようもなりませんので、ぜひともどうぞよろしく願いをいたします。ほかに。

はい、どうぞ。

○中村

すばらしいご意見をありがとうございました。最近もトビのことで、取材を受けており、マスコミが二、三件動いております。トビが餌を（お弁当）とる範囲がすごく広がってきてます。以前は鴨川でしか聞かなかったんですが、最近では市役所や上桂川の魚ヶ淵キャンプ場など。レジ袋ごとお弁当を持って行かれたりしてるんですね。それで、対策をよく聞かれるんですが、私たちが知ってる範囲内ですと、必ずトビは斜め後ろからお弁当をめがけてやって来ます。失敗したら今度は、左後ろから来るんですね。だから、後ろを壁にするとか、鴨川には所々に木とか植えてあるじゃないですか。体を遮ってくれる壁みたいなものの前に座ると大丈夫ではないかと思うんです。オスプレイのまねをしてホバリングして直下してくるといのは、竹門先生、考えられますでしょうか。私たちの知ってる限りのトビでは無理だと思いますが・・・。

○久保

木屋町通のそこを、こう来たんですね。

○中村

一番多いあたりですね。あの四条の辺。三条、四条の。

○久保

ちょうど交差点の狭いところです。

○中村

多分、後ろに空間があったと思うんです。上からおりてきてホバリングしてっていう芸当は、ちょっとトビでは無理ではないかと思うんです。しかし彼らもいろいろと学習していると思いますから。それと、ヌートリアのほうもちょっとなんとかしなくては・・・。現在、野鳥の会にもヌートリア班がいて、凡その数や場所の把握に努めているようです。15頭くらいは聞いています。これ以上ふやしてはいけないと思うんですが、餌やらないでくださいって言っても、もう私の赤いパジェロ（巡視に使用している車）を見たら逃げていくんです。チラシもう受け取ってもらえないというような状況で、京都府さんも少しお力を貸してください。よろしくお願いします。

○金田座長

特に外来動物の被害はいろんなところで、鴨川についてはヌートリアはもちろんそうですが、ほかではアライグマなどというのは、もう随分被害広がってます。サンショウウオみ

たいに手つけられなくなってしまって、日本種がほとんどいなくなっているというのもありますけれども、ともかく、そのあたりのインフォメーションもぜひ流すようにしていただけたらと思います。

はい。

○田中

ヌートリア対策もそうなんですが、行政側として、もう今、何か対策を練っておられる、具体的に、市と協働してとかは。

○金田座長

はい、どうぞ。

○高野（京都府建設交通部河川課鴨川条例担当課長）

今のところは、去年ですけれども、京都府の環境部局と、それから環境省の連名で、出町橋のあたりですね、そこで餌やりが多かったということで、看板は立てておまして。今年度につきましては、巡視もちょっと試験的にやっていこうかなというようなことを聞いてますし、あと、京都市とも、どうしていくかということ協議していくというようなことを聞いております。

○田中

ヌートリアは、一般の市民が捕まえるのは違法なんですか。

○高野（京都府建設交通部河川課鴨川条例担当課長）

特定外来種ということで、関係する行政庁なり管理者、施設の管理者が計画を定めて、国の承認もらって処分するというようなことになっているようです。

○金田座長

はい、どうぞ。

○竹門

私、淀川の関係委員会の委員もしてまして、ヌートリア問題っていうのは淀川本川では非常に大きな問題になってます。宇治川、それから桂川に入ってきているヌートリアは、二枚貝を食べる文化をもう既に伝播してまして、イシガイをことごとく食べてしまいます。そうしますと、イタセンパラを代表とするタナゴ類が生息できなくなりますので、自然環境の保全という意味でヌートリアを対策することは非常に緊急の課題であるということで、ぜひ積極的に進めていただきたいと思います。

○金田座長

ヌートリアは、私、あんまりあんな顔のを捕まえたことないんですが、捕獲するとしたら、どういう方法が。

○杉江

私の情報では、ヌートリアのほうは、管理の面、もちろん行政部局がかんでるんですけども、猟友会に委託するんです。狩猟の免許が必要ということも聞いております。ですから、昨今、猟友会も結構高齢化でなかなか手がないというようなことも、情報聞いてってね。私が、いつやったかちょっと調べて、たしか京都市さんとの絡みやったかな、ちょっと記憶も定かやないのやけども、猟友会に委託すると。業務委託して捕獲してもらおうということは聞いておるので、ちょっとその点、一回、関係部局で調べていただいて。これ、すごく繁殖力あるということ僕も聞いておりますので、早急に手を打たないと。どうも、聞くと農業用水に入って行って畑荒らすらしいね。餌がないと。農業用水入って行って畑入って、それから根を食べるらしいね、よく。だから、鴨川の場合は、護岸は間知石で積んであるけども、それ以外のところやったら全部穴あけて、根を食べるからいうことを聞いておるんで、ほかの生態系にも多分影響出ると思うので、できれば早いこと。

○金田座長

捕獲はわなですか。具体的に捕獲する方法。

○杉江

仕掛けやったり、それか、撃つかですわ。

○金田座長

こんな人口の多いところで。

○杉江

だから、問題が出るんですよ。狩猟の猟友会が許可、免許持つとるので、そういう形を。もちろん、行政等立ち会いの上かどうか知りませんが。よく山で例えばイノシシとか出ても、全部猟友会に業務委託しますからね。ですから、ただ単に捕獲するんであれば当然、今の野犬やないけども、そういう衛生局のほうは向こうはやってますわね、保健関係が。だから、恐らくそういう仕掛けも必要やと思うんですけどね。それはもう管理なさってる府、市のそれぞれの部局から一回調査していただいて、対応していただきたい思います。

○金田座長

はい、どうぞ。

○中村

ヌートリアは特定外来種に指定されていますから、それなりの対応がなされるべきだと思います。京都市が仰る農作物被害だけじゃなくて、例えば鴨川であれば、私が知ってる限りでは、ヌートリアは中州を拠点に毎日活動しています。そのすぐでイカルチドリが繁殖してるんですね。イカルチドリは京都府の準絶滅危惧種です。ですから、京都市は農作物に被害がないからといって、じっと手をこまねいて見てますが、京都府として準絶滅危惧種を守る気があるんだったら、何か対策をとっていただきたいと思います。先日新聞記事に掲載されていたとおりです。

○金田座長

ヌートリアをどうして捕獲したらいいのか、ちょっと私にはイメージがすぐ湧かないので、そこは今のいろんなご意見ございますが、それをぜひ参考にして、実態を確認しまして、府としても鴨川の管理という立場からぜひとも対策を講じるように、いろいろ調整は必要でしょうけれども、ぜひとも早急にお進めいただきたいと思います。よろしくお願いたします。

はい、どうぞ。

○高橋

ヌートリアの現状の問題はわかるんですけども、例えばユーチューブに鴨川のヌートリアを見に行こうという。

○金田座長

そんなんあるんですか。

○高橋

今も見たんですけど、出てますし、そのアクセスがやっぱり結構多いですね。ヌートリアの画像だけでも6,670枚あります。だから、それを見てると、かわいいし皆さん見に来てっていうコメントが出てたり、そういうのもありますので。ユーチューブの中であるとか、いろんなところに出てます。もう既に出てるので、ヌートリアがいるというのは、恐らく若い人、若い人だけではないですけど、私、今これで見るとそういうことなので。当然、中で見てみると、京都府でヌートリア困ってるっていうのもあることはあるんですけども、むしろおもしろがる人が結構多いという実態もあるので、ヌートリアがいるということだけではなくて、そういう情報戦略みたいなものもお考えになったほうがいいと思います。

さらに、ヌートリアだけではなくて、私、上賀茂に住んでるんですけども、イタチであ

るとかハクビシンであるとか、そういう外来種というか。ある上賀茂の人がわなを仕掛けると、1日で8匹捕まえられたと。それをまた、捕獲殺傷というのは問題があるので行政に連絡すると、山へ持って行って放すだけやという実態を聞いてます。恐らくヌートリアも、捕獲してもそういういろいろな問題が出てくるかと思imasので、情報戦と一緒にヌートリアの、例えば繁殖を、例えば天敵が何なのか知りませんが、自然の摂理に合うような何か方法もひとつお考えいただきたいなというふうに思います。

以上です。

○金田座長

ありがとうございます。大変貴重な情報をありがとうございます。最新の情報のようですから、ぜひとも。しかしながら、問題の深刻さはアライグマと同じように、何ていうか、単純な発想が加わっておりますので、被害がどんどん大きくなると思imasので、ぜひとも情報収集をして、対応策を練っていただきたいと思imas。どうぞよろしく願いをいたします。鴨川四季の日のホームページからいろんなところに話が広がっております。この機会にご意見を承れたこと、大変幸いです、次に行かせていただきたいと思imas。

(6) 京の七夕について

○金田座長

6番です。「京の七夕について」です。これにつきまして、事務局から。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

失礼いたします。京都府の観光課の課長の田中と申します。ひとつよろしく願いいたします。

それでは、資料6に基づきましてご説明を申し上げます。「京の七夕」事業の概要についてという1枚もののペーパーをご用意いたしました。今年、4回目の開催となります今回は、「想いを届ける七夕」というものをテーマに、「府・市民の参画」さらには「京都ならではの七夕」、そして「出会いが溢れる演出」というものを行いまして、「京の七夕」を全国に発信し、夏の風物詩として定着を図りたいと考えております。また、昨年に引き続きまして、東日本大震災からの復興を願imas。さらには、日本全体に元気を発信できる、そういうイベントに育てていきたいというふうに考えております。

具体的には、開催期間につきましてはお手元の資料でございますとおり、今年の8月3日土曜日から12日月曜日までの10日間といたしております。これは、改めて申し上げるまでもないかもしれませんが、「京の七夕」が旧暦の七夕のあたりであろうということと、

もう一つは京都観光、つまり7月の祇園祭、その時期と8月の五山の送り火、この間にちょうど閑散期と申しますか、京都観光の少しポケットになるような時期がございまして、夏の間ずっと京都観光を楽しんでいただけるように、10日間の開催期間を設定した催しものがございます。実施主体でございますが、京の七夕実行委員会というものを結成いたしております。京都府、京都市、京都商工会議所を初め、以下の団体にご参加をいただきまして、関係団体のご協力のもと進めているところでございます。

4番目の事業計画、今年のご案内でございますけれども、主催事業といたしまして、大きく分けまして2つの会場がございます。1つは上の菱形のマークでございますが、堀川会場。こちらは、押小路通から一条戻橋の間でございます。この堀川の会場では、堀川の遊歩道沿いに笹飾り等の七夕にちなんだ演出を展開いたします。①といたしまして、光の天の川。ライトアップ、いのり星放流、こういったものをさせていただきます。また、②といたしまして、竹と光のアート作品の展示。竹と光をテーマといたしましたアート作品を全国から募集しまして、作品を展示いたします。さらに3番といたしまして、光の友禅流し。友禅を光で演出した効果を、堀川の中で演出をいたします。そして4番目ですが、願い七夕といたしまして、子供たちの願いの短冊を飾りつけていきたいというふうに考えてます。二条城では、夜間の公開、ライトアップ等を行いまして、堀川会場周辺で一体的に七夕を盛り上げていきたいというふうに考えております。

一方、その2つ目でございますが、鴨川会場。こちらは、御池大橋のほうから四条大橋、この間で実施いたします。鴨川周辺での竹と灯りの飾りなど鴨川納涼と連携いたしまして、七夕の催事を展開したいと考えております。本日お越しいただいております「鴨川を美しくする会」のほうで、まず8月3日、4日と2日間にわたりまして鴨川納涼を開催されますけれども、それとの連携。さらには、竹と灯りの散策路といたしまして、鴨川の御池通、四条間、御池大橋から四条大橋間、この間で風鈴灯、さらには鴨川の七夕飾り、そして納涼七夕飾り、光のオブジェ、こういったもので、光で演出をしまして、皆様方にそぞろ歩きを楽しんでいただける、こういった空間をつくっていききたいと考えております。この竹と灯りの散策路のライトアップでございますが、堀川会場も同じでございますが、午後7時から午後9時半、この2時間半を予定いたしております。

3番目でございますけれども、鴨川左岸プロジェクト。こちらにつきましては、4回目になりますけれども、今年初めて実施するというものでございます。鴨川の右岸側、三条から四条間のちょうど間あたりから左岸側に向けまして映像を照射いたし

まして、例えば京都の伝統文化ですとか鴨川の歴史ですとか、友禅流しも含めまして、そういった京都の魅力あふれる映像を皆さん方に、来場者の皆さん方に楽しんでいただきたいということで、現在企画をいたしております。

さらに4番目でございますが、京の七夕の舞妓茶屋。こちらは、先斗町の歌舞練場で先斗町の方々、皆様方と連携して実施するものでございます。

最終日、10日間終わりました後に、鴨川美化活動ということで、翌日13日になりますけれども、美化活動も行います。

こういった事業計画になってございまして、こちらについては河川関係の協議、それから警察協議、そういったものを現在進めておりまして、準備が整い次第、実施に移してまいりたいというふうに考えてございます。

さらに、2番目でございますけれども、協賛事業でございます。こちらは、この主要会場と連携をいたしまして、例えば府内の寺院神社の協力のもと、七夕飾り、夜間特別拝観、こういったものを実施してまいります。さらには、府域全体の七夕関連のイベント、そういったもの。さらには、商店街などとも連携しながら、地域密着型の七夕イベントを府域全体で盛り上げていきたいというふうに考えてございます。

最後に、その他でございますけれども、実施に当たりましては環境に配慮する取り組みということで、1つ目の放置竹林の整備でございますが、こちらは京都大学の桂キャンパス内の竹林のほうでモデルフォレスト協会等の協力を得まして、ボランティア組織を結成いたしまして、竹を切り出しまして、この切り出した竹で堀川会場、鴨川会場のしつらいをするというものでございます。今年は6月29日土曜日を予定いたしております。

さらには、現地のほうで使用します電力関係でございますが、グリーン電力、これは京都市さんのほうが、京グリーン電力制度というものを持っていらっしゃいますので、こちらの電力を購入するということを実施いたしますとともに、堀川会場、鴨川会場両方ともでございますけれども、LEDのライトを積極的に活用いたしまして、省電力、環境に優しいという取り組みを実施したいというふうに考えてございます。

説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○金田座長

ありがとうございます。毎回、夏になるとこの行事についてお聞きしてるんですが、実は正確には去年の記憶をしておりませんで、不正確なんですけど、今、鴨川会場の③のところの左岸のプロジェクションマッピングというのが、これは初めての行事だという紹介が

ありましたが、ほかのものにも初めてっていうのはあるんですか。それとも、基本的に一緒なんですか。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

例えば鴨川会場でございますと、基本的には、ほかの行事自体は昨年とほぼ同様の内容になってます。

○金田座長

何かご質問、ご意見は。

はい。

○久保

この鴨川左岸プロジェクションマッピングっていうやつなんですけれども、どこからか何かその話が入ってきて、昨日の夜に8時から何かそのような試写があるということだったので、私、行ってみたんなんですけれども、それなんでしょうか。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

ありがとうございます。昨日、実はこのプロジェクションマッピングのテスト試写というのを、ご関係の皆様にはご案内の上、一緒にやらせていただきました。8時から8時40分という予定でございましたけど、少し早目に始めさせていただきました、7時半ぐらいから、暗かったので実施いたしましたけれども、関係の皆様方二十五、六名の方お集まりいただきました。そのことでございます。

○金田座長

どうぞ。

○久保

同じ場所でやられるんだと思うんですけども、率直な意見を申しますと、多分、対岸が明る過ぎたんだと思うんですけども、何を照射されてるのが全くわからなかったんです。当日やられるにしても、もうちょっと鮮明な映像を出すような工夫をされないと、私の知り合い、先斗町関係も何人か来てたんですけど、何やこれって言うてましたから。当日、多分、かなり賛否両論あるような気がするので、その辺のところもう少し工夫を、恐らく対岸までの距離があり過ぎたとか、対岸が明るかったっていうこともあるんだと思うんですけども、工夫をされたほうがいいんじゃないかな。もう直近に来てますのでね。意見として申し述べさせていただきたいと思います。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

ご意見ありがとうございます。実は、今おっしゃいました意見、同様に事務局でも同じ意見が出ておりました。画像が少し鮮明じゃないということと、それから対岸が川端通ですか、あそこの交差点に当たるところでございまして、明かりが少し明る過ぎてなかなか見にくいという話もございましたので、場所については少し移動する方向で今、ちょっと検討しようかなと。いわゆる少し暗い目のところへ行くと。それから、映像のほうなんですけれども、色によっていわゆる、パソコンを実はそれを照射してるんですけれども、パソコン上で写ってる画像と、実際に左岸側の土手に実は写すんですけれども、土手のほうの石垣の関係で違う色合いが出るものですから、なかなか見づらいということがございましたので、その辺もう一度テストを繰り返しまして、映像の鮮明化には努めてまいりたいと考えております。

○金田座長

ほかにご意見はないでしょうか。この事業の、特に鴨川のところですが、事業については鴨川に住んでる野生動物も含めまして、環境に影響が出るようなことはできるだけ避けるということで、この事業を以前のこの鴨川府民会議でお認めいただいているという経緯がございますので、ぜひその点を十分にご配慮いただきたいと思います。ヌートリアが寝てるのかどうか知りませんが、ヌートリア起こしてもいいと思いますけれども、それはわかりませんが、事業は事業として大切だと思いますが、鴨川の環境がそれによって損なわれるような形の、イメージとしても環境としても損なわれるようなことは好ましくないと思いますので、その点のご配慮をぜひともどうぞよろしくお願いいたします。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

もちろん、その点については十分配慮して実施したいと考えております。

○金田座長

ほかに。

はい、どうぞ。

○川嶋

鴨川会場の3番の鴨川左岸プロジェクションマッピングのことについての、ちょっと質問というか、なんですけれども、どこの団体さんがこれはやられるものなんでしょうか。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

実施するのはこの上に実施主体と書いてございます、京の七夕実行委員会という組織が実施するということになっております。もう少し具体的に申し上げますと、実行委員会の

ほうから、今年は委託業者がございまして、日商社というイベント系の会社なんですが、そちらのほうと我々のほうが委託契約を結んでおりまして、そこのほうから上がってきた内容とか、それを実行委員会のほうで吟味しまして実施するということになってございます。

○川嶋

ありがとうございます。私自身もこのプロジェクションマッピングっていう手法にすごく関心持ってたので、ちょっとお伺いしたいなと思いました。

以上です。

○金田座長

ほかにご質問。

はい、どうぞ。

○高橋

今話題のプロジェクションマッピングですけども、話題なだけに非常にいいものにしていただきたいと。関東では、東京駅の中でプロジェクションマッピングやってすごい人気になったとか、周りの交通整理が大変やったとか、あるいは埼玉の県庁のほうですかね、プロジェクションマッピングやって、あまりの人の多さで中止になったとか、いろいろそういうニュースをあちこち聞きますので。恐らく、プロジェクションマッピングということで広報を出されたら、そういうことを知っておられる方、あるいは興味のある方は非常に興味を持って集まられると思うんですけども、今話題の手法あるいはイベントなだけに、いいもので期待に応えられるようなものにしていただきたいと思いますし、中身についても、京の七夕、どんな中身になっているのか知りませんが、中身についてもみんなが満足するような、ただ単なる奇をてらうようなものではなくて、鴨川全体あるいは京都、古都のことが、きちんと見に来られた方に伝わるようなものにしていただきたいと思います。

○金田座長

はい。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

ありがとうございます。昨日の試写のときに写させていただいた映像、実はテスト映像でございまして、かなり中身についてはこれからというのが実情でございます。ご意見いただきましたように、我々としてもプロジェクションマッピング自身はかなり注目を集め

るなあと。いろいろ調べてみたんですが、河川の土手のほうに写して、このような形で見せるプロジェクションマッピングは多分、全国でも例がないということになろうかと思えますので、初めてやるということで、なかなかうまくいきづらいところもあるんですけども、それを鴨川の歴史なり京都の歴史なり、しかも京都三条、四条間ということで、そういったもので伝統・文化そういったものを交えまして、きっちりとしたものになるように努力したいと考えております。またご意見等ございましたら、ぜひ事務局のほうまでお寄せいただければと思います。よろしく申し上げます。

○金田座長

竹門先生、どうぞ。

○竹門

環境配慮という中に、放置竹林の整備っていうのがございますが、これは具体的にどの団体がどんな形で配慮をされるのかを教えてくださいませんか。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

すいません。実は、竹を会場のほう、堀川会場の主に天の川を使うときに使います。さらに、鴨川会場のほうでも笹飾りをたくさん植えますので、笹をたくさん使います。この際に、その笹なり竹なりのもともとの原材料として、現在考えてますのは、京都大学の桂キャンパスの中のほうの竹林を、実は大学の話を聞いてみますと、放置されてる状態だということですので、京都モデルフォレスト協会のご協力のもと、実行委員会のほうでボランティアを結成しまして、約50名ですけども、50名の方で切り出して、それを現地のほうに運ぶと。ですので、イメージとして、放置竹林の整備といいますと、京都大学のキャンパスがきれいに整備されるというイメージをもしかしたらお持ちかもしれませんけど、実はそこまではちょっと実際にはできませんで、このモデルフォレスト協会のご指導のもとに、この竹、この竹というご指導をいただきながら、これは切ったほうがいいという竹を指示いただきまして、プロの方に入っていていただいてボランティア組織で切り出すということを指します。

○金田座長

ほかにいかがでしょうか。ご意見。

はい、どうぞ。

○飯塚

すいません、またプロジェクションマッピングのことで、ちょっと蒸し返すようで恐縮

なんですが、日本の事例ではないんですけども、今年の3月に韓国のソウルのチョンゲチヨンに行ってきたときに、まさにプロジェクションマッピングというか、多分ほんとの意味で東京駅みたいにすばらしいプロジェクションマッピングとはちょっと違う簡易的なマッピングですけれども、そういうのを日常的に毎夜やっているような形なので。たしかそういう絵を、ちょっと簡易的なデジカメかなんかで撮った絵がありますので、またお送りします。あんまり参考にならないかもしれないですけど。

○田中（京都府商工労働観光部観光課長）

ありがとうございます。

○金田座長

ほかにいかがでしょうか。そうしましたら、いろいろとご意見をいただきましたので、その点に関してまたぜひご留意いただきましてお進めいただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

私は、ちょっとうっかりしてまして、スタートから、何でそんなこと思ったのかわからない、1時30分から4時30分まで2時間だと思ってたら、実は3時間なんですね、これね。全然時間が合わなくて、今ごろになって気がついて勘狂ってるんですが。私は、何となく会議は2時間だと思ってたものですから、そういうふうに誤解したんだと思いますが、一応、これで本日準備されたほうの議事は終わりました。

それで、せっかく早く進んだので、休憩もなしにこのまま行かせていただくかと思っておりますが、この議事とは別に、参考に、松井委員のほうから鴨川探訪した報告をしていただけるということでございますので、お願いいたします。

○松井（恒）

どうもすいません。これは資料に使っていただけるということで、ありがとうございます。これは、府民会議の資料としてではなくて、私が休み中にたまたまデジカメを持って気がついたことを列記したということで、レポート用という形でもないんです。もう少しレポートでしたら上手にまとめられると思うんですが。歩いてみて気がついたことを列記したということで、何か府民会議のほうでお役に立てればということでお送りさせていただいたものです。それをコピーしていただいて、今回、参考資料として提示していただいたということです。

これは5月5日ですのでかなり人が多くて、しかも観光客の方が多くて、大体4時間か5時間ぐらい歩いていたのですけれども、その中で地元の人とか観光されている方と話し

ながら最終地点、出町の橋まで歩いたということを書かせていただいています。これは、皆さんも鴨川のほうよく歩いておられますので、同意見かと思えますけれども、気がついたことだけを申し上げますと、いつも話題になりますごみ箱の件なんですけれども、荒神橋でしたですかね。写真にもあると思いますけど、荒神橋の下に、5ページですね、5ページのところにゴミ袋が左岸側のところにたくさんつってありまして、これを利用されている方が結構ありました。この橋の下の利用の仕方として、ゴミ袋を、かなり大きなゴミ袋ですけれども、手に持ってられるゴミを、簡単にゴミ袋があれば入れられますので、次のごみ箱のどこまで持っていけばいいだけですから、それで、ごみ箱も要らないですから。ゴミ袋を橋の下にたくさんつとくというのも、これは一つの例で、いいなと思ったんです。これも、たくさん利用されてましたので、ごみ箱の設置でごみ箱を減らすということになれば、こういうゴミ袋を橋の下、雨に濡れないところにたくさんつとく。経費も少なくて済むかなと思いました。

あとは、鴨川に来てられる方で、ちょっと時期的なんでしょうけれども、家族連れの方が多くて、その中でも三重県から来られた方で、今年、京都に息子さんが入学されたということで、下宿の近くをご家族4人で歩いてられて、非常にいいとこだと。こういうところに4年間、子供が生活できるというのは非常にありがたいということで、歩いてられる方もおられましたし、ゴールデンシーズンということで、女子大生の方が、どっかで着物を着つけされているんですね、そこで着物に着がえて散策されてる。しかも、写真をたくさん撮られるということもありました。今日報告せよということちょっと聞いてなかったので考えてないんですが、ここに、私歩いた順番にデジカメもってたくさん撮ってるんですけども、野鳥の会の中村さんもおられますんですけども、野鳥もたくさん撮ったんです、実は。載せてません。カルガモの親子が仲良く泳いでるとこなんかは、皆さん、写真一生懸命撮ってられましたし、ほんとに和やかな憩いの場所だという感じで、そういう写真もあったんですけども、省いております。ホームレスの方も、お一人だけですけども、お話しさせていただきました。生活保護の問題とかそういう問題についてお話しさせてもらったんですけども、本人は非常に今の生活で満足していると。とやかく言われたくないということで、どうやって食事されているのかとか、いろいろお聞きしたんですけども、まあ食べていけると。寝るとこもあると。束縛もされへんと。病気されたらどうされるんですかっていうことになったら、病気はせえへんと。ですから、今のままで誰にも干渉されずに過ごしていけるのが一番楽やということでした。でも、その横には、観光客やマラソン

される方やほかの方がいっぱい歩いてられますので、景観としてはちょっと、京都として褒められるものではないなと思いました。

あとですけれども、先ほど来ありますけど、ヌートリアも見ました。ただ、すばしっこいので撮影には失敗しました。これは、ヌートリアは観光客の方も見られてて、かわいらしいという意見でした。それと、バーベキューをしていたグループがあったんですけども、このバーベキュー終わってから、最終の写真のどこにあるんですけども、これは非常に悪い例で、バーベキュー終わってからしか見つけられなかったんですけども、火を使いますんで、炭を消すと。炭を消して1メートルぐらいの鍋、鉄板を洗うということで、河原まで持ち込んでました。これは厳重に注意しました。ただ、鴨川条例も知らないし、マナーというんですか、それが普通のキャンプのような考えでされてた学生さんたちだったんで注意をしましたが、もう二度とはしないということでお話をさせていただきました。

それと、先ほど来もありましたけども、野鳥のトビですね。トビはやっぱり飛んでました。右側にお土産を置いてられたお年寄りの方がおられたんですけども、うまいこととっていきました。ただ、その危険性というものの認識はないですね。皆さん、ほかの近所におられた方が集まってこられましたけども、びっくりしましたねと言うだけで、そういう野鳥のトビに、前に中村さんにお聞きしたんですけども、女性の方なんか肌ひっかかれたら、なかなか傷が成形では治らないというようなお話も聞いてましたので、私はそれをちょっと言いましたけども、ただ、あんまり関心はないですね。とられたと、うまいこととりよったという、そういうほうが多くて、がやがやとしてます。ちょうど、これはごみになりますけども、コンパですか、新入学生が多いのでたくさんのコンパがされてました。ごみ袋を持ってこられてる方が大半でした。特に印象的だったのは、私と同年代よりもちょっと上の方、60代少しの方ですけども、男の方ばかりで酒盛りをされてたんですけども、多分ごみ袋何も用意してへんやろと思ったんですけど、きちっと用意されてて、空き缶を入れるごみも分別されてました。これは非常に喜ばしい、同年代としては喜ばしいことでした。学生さんたちも、ペタンクやられてた方も全部ごみ袋を持ってられて、1カ所に集めてられました。これは、予想外に皆さんマナーを守ってられるという印象がありました。

あと、やはりトイレがないというお話があったのと、自転車も多かったんですけども、自転車も子供さんたちが乗ってられるんで、どうしてもスピードの競争になるんで、スピードが出てるので危ないということもありましたし。川もコイばかりで、普通の川魚は

余り見られませんでした。こういったもの、放流されてたくさんふえてきてるのかなという感覚はありました。

それと、あと気がついたのは、河川敷ギャラリー、先ほどお話ありましたけども、大変暑い日でしたので、ギャラリーの前に座られる方が多くて、實際上、歩いてられる方は見られ、なかなかゆっくり見られないというか、内容全体が見られない。写真を撮りたいという人がたくさんあったんですが、それこそ何十人って前座ってられますので、撮れない状態で、せっかくのものですけれども、ちょっと見られる方が少なかったという印象ありました。

あと、何か、私が気づいた部分ですけれど、何かございましたら、ご意見いただければありがたいんですけど。

○金田座長

写真などご質問がございましたら。ありがとうございます。大変丁寧な情報をいただいて、これから管理にも役に立つ情報が入っていると思いますけれども。また、常に時間があるはずはございませんけれども、もしそういう情報がございましたら、また随時いただけたらというふうに思います。

私の勘違いもあるんですけども、かなり本日は珍しくうまく進行してきたなという気があるんですが。

どうぞ。

○杉江

議案は一応すべて終わっておるんですけども、ちょっと会のほうからご案内申し上げます。まず、今年の第44回の鴨川納涼なんですけど、ご承知のとおり、今から4年前から京の七夕と同時開催しております。そういう状況の中で、特に去年、おとしぐらいからかなりの来場者がありました。特に、四条側のほうの全国のふるさとの県人会のほうの物産コーナーにつきましては、それこそもう身動きがとれないという状態で、今後どうしたら安全管理的にスムーズにいくかなということを考えておまして、今まで長いこと、従来の形でやっておりましたけども、今回、一応テストケースということで、そっくり配置計画を変更ということを決断いたしまして、全国県人会の分につきましては、三条と中央本部のステージの辺との北のエリアで一応、対応しようと。あと、それ以外は染色の地場産業の啓発コーナー、そして市町村の物産、そして啓発コーナーというような配置計画を考えております。ゆっくりと散策しながら、夏の夜を楽しんでいただけたらどうかなと思っ

ておりますので、よかったですら来てやってください。

それから、先ほどちょっと事務局のほうから話あったとおり、この2日ですね、日曜日、定例のクリーンハイクがございます。ちょうど、今日中、お帰りになって、もし、いや参加してやろうというのであれば、ファクスしていただいたらその準備かかっておりますので、よろしくをお願いします。

それから、ちょっと本日、京都市さんもお見えですので、ちょっと要望したいなと思っております。御池、四条間、芝生とそして散策路、きれいになりました。残念ながら、三条大橋北のところ、ひどく汚れと破損しておるといふか、ちょっと上を見上げると情けないなという感じします。できればちょっと修復なり整備をしていただいたらありがたいと思っておりますので、その点よろしくお願ひいたします。

以上です。

○金田座長

ありがとうございました。ほかに何か、この機会にお話というのは。

では、お二人。どうぞ。

○竹門

最後にと思っていたのですがけれども、問題はこの水辺の回廊整備・鴨川創造プランの2ページ目に、河川環境の現状の問題点として、上流部では資材置き場や廃棄物処理場などが河川沿いに点在し、土砂の流入などによる河川への影響が懸念されるという問題が明記されておるわけですが、その現状がどうなっているのかを、先週、写真を撮って資料をつくってまいりましたので、それを皆さんに配付するつもりで持ってきたのですが、事前に議事は配付、事務局に渡しておかないといけないということで、皆さんに配付することはできなかつたんですけど、これ終わってから配付してくださるんですよ。皆さんに、全員の分持ってきましたので、それを見て現状を把握していただきたい。

○金田座長

ありがとうございます。その件につきましては、以前からこの府民会議で、何回かそれ自体を話題にして議論をしていただいております。また、状況報告をいただきながら議論をするということにしておりますので、そのときの材料にもまたぜひとも、我々のほうも参考にさせていただきたいと思ひます。ありがとうございます。

○竹門

ちょっとだけ話したらだめですか。

○金田座長

あと、まとめてまたやりましょうか。それはそんな簡単には終わる話ではございませんので、何回も繰り返し。

○竹門

いや、その魚の立場から見たときの問題点というのだけ言わせていただきたいんですけど。ここには、土砂などの流入って書いてありますけれども、実際に入っているのはスレートだとかコンクリートだとか碍子とかの金属片とか、非常に自然の産物とは違うものが土砂の中に混入しているわけです。その結果、川の中に非常に多数のそういう底質が今現在、鴨川の上流域には大量に存在しています。これが徐々に下流に流れてくるのは確実にして、それらは単純に生き物にとって環境の劣化を招いているだけじゃなくて、川に入って水の中を楽しもうっていう人にとってみても危険なものですので、その現状をちゃんと踏まえた対策というのをぜひ検討していただきたいということです。

○金田座長

はい、それは重要なことで、ぜひともそういう情報も事務局のほうにきつとまた、おわかりになるところをお知らせいただけたらと思います。いずれまた、毎回これは議論になるところですけども、いずれまたちょっとまとめてご議論いただかないといけない点だと思います。

続きまして、お願いします。

○坂口

NHKの坂口でございます。いつも鴨川に対する熱い思い、積極的なご発言、いつも何か一つぐらい気づいて帰るんですけども、今日はヌートリアの話を聞かせていただきまして、あれなんです。

NHKなんですけれども、実は番組で、春先のほうからこの鴨川府民会議のメンバーの皆さんにもご協力いただきまして、1本番組、全国向けの番組を制作しております。それと、7月19日の金曜日にBSプレミアムで放送しようと思っておるんですけど、新日本風土記・京都鴨川という、そういった番組を今制作をしてございます。まだ完成をしているわけではございません。京都府土木事務所の方にもご協力をいただきまして、今順調に進んでございます。内容的には、古都の山紫水明な風景、それから文化をつくりだした悠久の歴史のある鴨川、それから川とその周りの人々の営みですね。こういったものをオムニバス形式でご紹介する番組を、今つくってございます。ご協力いただいた方の話題すべて

入るかどうかっていうのは、ちょっとわかりませんが、ぜひ祇園祭の前の放送になりますので、お楽しみいただければというふうに思います。ぜひともごらんいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○金田座長

ありがとうございます。

失礼ですけど、鴨川上流のことにつきましては、これはちょっと簡単に済ませるというわけにはいきませんので、腰を落ちつけてまた議論させていただきたいと思います。

それでは、本日は一応、議事は終了いたしました。休憩時間もとらずに突っ走りましたので、ご迷惑をおかけいたしました。それでも、考えてみたら2時間以上、ほぼ2時間半近い時間を費やしております。うまく進行しながら、かつご意見をちゃんと聞きするというのは難しい話なんですけれども、今後どうぞよろしくお願いいたします。

本日はもう司会をお返しいたします。

○高野（京都府建設交通部河川課鴨川条例担当課長）

金田座長、どうもありがとうございました。

これをもちまして、本日の予定は終了いたしました。次回の日程ですけれども、8月の終わりごろか9月ごろに予定をしております。事務局のほうでまた調整の上、改めて連絡をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これで散会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

[午後 4時01分 閉会]